

過去の出題傾向について確認しておこう！

東北大入試研究[英語]

▶ 出題一覧表

過去 10 年の東北大の入学試験(英語)で出題された分野を次の表にまとめた。

	I	II	III	IV
2016	長文読解(約 970 語) ・ 下線部和訳, 空所補充, 同義語, 内容説明	長文読解(約 750 語) ・ 下線部和訳, 文整序, 内容説明	会話文 ・ 内容一致, 自由英作文	英作文 ・ 和文英訳(A)(B)
2015	長文読解(約 930 語) ・ 内容説明, 下線部和訳, 内容一致	長文読解(約 870 語) ・ 内容説明, 下線部和訳, 内容一致	会話文 ・ 内容一致, 自由英作文	英作文 ・ 和文英訳(A)(B)
2014	長文読解(約 820 語) ・ 内容説明, 下線部和訳	長文読解(約 680 語) ・ 内容説明, 下線部和訳, 英語による要約	会話文 ・ 空所補充, 内容一致, 英語 による内容説明	英作文 ・ 和文英訳(A)(B)
2013	長文読解(約 840 語) ・ 内容説明, 下線部和訳	長文読解(約 1170 語) ・ 内容説明, 英作文, 同意語句選択	英作文 ・ 英文要約	英作文 ・ 和文英訳(A)(B)
2012	長文読解(約 730 語) ・ 内容説明, 下線部和訳, 空所補充	長文読解(約 510 語) ・ 英作文, 要約	会話文 ・ 自由英作文	英作文 ・ 和文英訳(A)(B)
2011	長文読解(約 770 語) ・ 内容説明, 下線部和訳, 空所補充	長文読解(約 820 語) ・ 内容説明, 下線部和訳	会話文 ・ 自由英作文	英作文 ・ 和文英訳(A)(B)
2010	長文読解(約 800 語) ・ 内容説明, 下線部和訳, 空所補充	長文読解(約 670 語) ・ 内容説明, 下線部和訳	会話文 ・ 空所補充, 内容一致	英作文 ・ 和文英訳(A)(B)
2009	長文読解(約 700 語) ・ 内容説明, 下線部和訳, 内容一致	長文読解(約 760 語) ・ 内容説明, 下線部和訳, 空所補充	会話文 ・ 空所補充	英作文 ・ 和文英訳(A)(B)
2008	長文読解(約 470 語) ・ 内容説明, 下線部和訳, 空所補充	長文読解(約 670 語) ・ 内容説明, 下線部和訳, 文整序	会話文 ・ 空所補充	英作文 ・ 和文英訳(A)(B)
2007	長文読解(約 660 語) ・ 内容説明, 下線部和訳, 空所補充	長文読解(約 740 語) ・ 内容説明, 下線部和訳, 空所補充	会話文 ・ 空所補充	英作文 ・ 和文英訳(A)(B)

▶ 分析と対策

2016 年度の大問構成は例年通り長文読解 2 題, 会話文 1 題, 英作文 1 題であった。2015 年度の大問 I, II には下線部和訳や内容説明問題以外に内容一致問題がそれぞれ 2 問ずつ含まれていたが, 2016 年度は, 空所補充や同義語, 文整序問題が新たに見られた。大問 I, II 共に, 下線部和訳と内容説明を中心とした正確な読解が求められている本質には変わりがない。大問 III は会話文を素材とした問題で, 2016 年度は, 2015 年度同様に, 内容一致問題と英問英答の問題が課された。英問英答は条件付きの自由英作文となっている。大問 IV は近年の傾向通り和文英訳問題が出題された。全体として, 日本語と英語の両方で高い記述力が求められているので, 英文の読解力を高め, 日本語と英語両方の記述解答力を高めることが重要である。毎年, 設問形式に多少の変化が見られるが, どんな形式にも対応できるようにしっかりとした土台を作り, その上で模試や過去問を利用して練習を積んでおこう。

長文読解…大問 2 題は下線部和訳, 内容説明を中心とした論説文・エッセイの読解問題である。年度によっては日本語のみならず, 英語での記述解答が求められる設問もあるので, 英文の論旨を正確に読み取り, 簡潔な日本語でまとめる力, 英語で文法・語法のミスなく論述する力が必要である。

会話文…会話文とはいえ, 口語表現などが問われるのではなく, あるテーマを基にした意見交換を読んで設問に答える問題で, 内容は決して平易ではない。自分の意見を英語で述べる自由英作文の要素を採り入れた設問も多い。

英作文…英作文は, 日本語の文章中の下線部 2 箇所を英訳する和文英訳問題である。和文から英文へ逐語的に訳すことは難しいので, 和文を英文に訳しやすいように解釈する練習をするとよい。辞書を見なくとも使うことができる基本構文や語句を増やしていくことがポイントとなる。